

事業所名

フォレストキッズ行徳教室

支援プログラム

作成日

2024年

10月

13日

法人（事業所）理念		保護者と共に児童の特性に寄り添い、 保護者と共に児童の特性を生かし、 支援者が一丸となって質を高めることにより、 児童が自信を持って力を発揮できる場所を作る				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個別ニーズに応じたオーダーメイドの療育プログラムを提供する。 ・どこで何をするのかどうなったら終わりなのか分かりやすい環境の中で子どもに合わせて課題を段階的に提供していく。 ・支援者との積極的なコミュニケーションを通じて自己肯定感を高め、他者から承認される喜びの気持ちを育む。 ・保護者との連携も重視し、家庭との協力を通じて子どもの発達を支援する。 				
営業時間		平日 10時00分から 18時00分まで	土・日・祝 9時00分		送迎実施の有無 なし	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・どこで何をすのかどうなったら終わりなのか分かりやすい環境（構造化された環境）で自立的に行動することを促す・靴下や靴のぬぎ履きなど自分でできる事は自分でするように促す・体調を伝えることを促す				
	運動・感覚	・感覚遊びを取り入れ、感覚統合を促進させる。・運筆や箸の練習、工作や折り紙など取り入れるなど指先を使用する課題を段階的に取り入れ、手指操作の向上を目指す。・運動遊びを通じて、体幹とバランス感覚を向上させ、運動機能の発達を支援する。				
	認知・行動	・子どもの好きなものを取り入れたり、選択肢を与えるなど、積極的に課題に取り組めるように支援する。・パズルやかたはめ、ブロック構成、間違いさがし、数概念の課題など取り入れ、認知機能の発達を支援する。				
	言語コミュニケーション	・絵カードや絵本などを使用して、支援者とコミュニケーションを取りながら言葉の発達を支援する。・ジェスチャーやコミュニケーションカードを使用して、子どもからの発信を促す。・吹く遊びや口周りの体操を取り入れ、構音機能にアプローチしていく。				
	人間関係社会性	・高い低いなどのふれあい遊びを通じて、支援者とのやりとりを増やす。・ボードゲームを取り入れ、ルールを守って遊ぶことを教えていく。また、年長児には勝ち負けがある遊びを取り入れ、負ける事も受け入れられるように支援していく。・取って足りないものを用意したり、やや難しい課題を用意し、援助要請の練習を行う。・絵カードや絵本などを使用して、社会的なルールを伝えていく。・小集団で手遊びや紙芝居を実施する。				
家族支援		子どもの成長を支えるために家族全体のサポートを重要視している。ご家庭での様子を伺い、お困りごとがある場合には一緒に考えていく。	移行支援		必要に応じて、所属園と連絡をとり、情報共有をしていく。小学校にあがる際には、必要に応じて就学支援シートなどを通して、本児の得意なことや苦手なこと、どのような支援があると良いかなどを伝えていく。	
地域支援・地域連携（インクルージョン）		適宜、地域の保育所、幼稚園および他の児童発達支援施設と連携し、情報共有や支援体制の強化を図っている。		職員の質の向上		毎日、ケース会議を行い、質の標準化に努めている 定期的に研修に参加。朝のミーティングで教室間で支援内容の共有。
主な行事等						